



議会だより

せとうち

2024
11.1
第80号

特別編集：市制20周年記念特別号 (P9~16)



議案審議…… 2～5
人事案件……… 4
訃報……… 5
一般質問……… 6～21
視察報告……… 22～23

約3千人が楽しんだ
「第5回せとうち夜市」

(開催日：9月7日土曜日)

(会場：岡山村田製作所グリーンフィールド)

黒井山グリーンパークでカキPR 2千万円



市の海産物「カキ」

道の駅黒井山グリーンパークに、新たにカキを楽しむ施設を整備する。道の駅を管理する「侘曙の里おく」への指定管理料の増額費用が計上され、可決した。

問 整備する理由は。

答 黒井山グリーンパークのカキ直売所から久町漁業協同組合が撤退し、地域特産であるカキのPRをする場所がなくなったため。

問 整備の内容は。

答 店内の改装や消防用設備、厨房設備の整備、また、テーブルやイス、コンロなどを整備する。

来年1月頃、カキ直売所を再開し、店内で食べることができるようになる。

地域ビジネス支援センター設計に 約3千100万円

ビジネスセンター これまでの経緯

JR駅前整備のために、商工会移転の交渉を開始した
 邑久高校前の市駐車場に商工会を整備する案が浮上した
 ※議会は、土日の公民館の駐車場として必要と追及した
 商工会が、市役所本庁西側にある土地購入の検討を始めた
 商工会が、市役所本庁西側にある土地を購入した

概算事業費8億円で、整備基本計画を作成した
 地域ビジネス支援センター設計予算約5千万円が計上された（事業費は10億円に増大）
 令和6年度予算を付帯決議を付して可決した

1. 経過や整備状況について、議会へ適宜報告すること
 2. ビジネス拠点としての機能を有するものにする
- 国のデジタル田園都市国家構想交付金に採択された
 今議会に追加の設計予算約3千万円が計上された

R2年
 R3年7月
 R4年5月
 R5年5月
 R5年8月
 R6年3月
 R6年8月
 R6年8月

地域ビジネス支援センターの整備に向け、設計監理委託料が計上され、賛成多数で可決した。

問 総事業費及び財源の内訳は。

答 現段階では、総事業費が約9億5千万円である。

財源の内訳は、交付金が約3億6千万円、一般財源が約2億7千万円、地方債が約3億2千万円である。

問 建物の管理や運営はどうなるのか。

答 当然市の管理と考えている。運営に関しては日常的に地域産業と関わりを持つ場所と機会を提供し、地域を支える事業者や就業者の課題解決に取り組む事業をしていく。

反対討論

市は今まで、市の実質的負担は、5千万円で整備できると説明してきたが、約2億6千万円に増額した。
 総額が約10億円を超える箱ものを整備するのではなく、今は困っている人に手を差し伸べるべきだ。

マイナ保険証への移行に伴う各種条例改正

議案第63号 瀬戸内市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正することについて

議案第64号 瀬戸内市中心身障害者医療費給付条例の一部を改正することについて

議案第65号 瀬戸内市国民健康保険条例の一部を改正することについて

議案第66号 令和6年度瀬戸内市一般会計補正予算（第2号）

反対討論

マイナ保険証の取得率は約6割である。いまだに半数弱の方が所有していない。利用率も2割程度となっている。取得率も利用率も上がらないまま強引に紙の保険証を廃止し、マイナ保険証を進めることは反対である。

令和6年第4回（8月）定例会 賛否の公表

議案名	議決年月日	採決結果	賛否の公表													賛成	反対					
			かなえの会	日本共産党瀬戸内市議団	公明党瀬戸内市議団	創流クラブ	瀬戸内市民の会	新風					賛成	反対								
			案井 誠司	成原 崇	高野 舞	厚東 晃央	島津 幸枝	河本 裕志	川勝 浩子	竹原 幹	日下 俊子	小野田 光	原野 健一	平原 順二	木下 公文	廣田 均	小谷 和志	石原 芳高	岩田 恵一			
議案第63号	R6.9.20	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2
議案第64号	R6.9.20	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2
議案第65号	R6.9.20	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2
議案第66号	R6.9.20	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2

○=賛成 ●=反対 退=退席 欠=欠席 一=議長職（議長は採決に加わりません）

続きは5頁



計画中の地域ビジネス支援センター（イメージ）

開田線の工期変更の専決処分を承認

市道開田線の橋梁工事については、6月議会の最終日に、約2千600万円の追加工事議案が提出され、可決した。今回は、工期を7月31日から8月23日に延長することについて、議会を招集する時間的余裕がなかったということで、専決処分したと承認議案が提出され、賛成多数で可決した。

問 工事が完工日に間に合わない判断した日とその理由、及び専決処分を決めた日は。

答 工期延期の相談が7月22日にあり、工期内に安全に完了することが困難と26日に判断し、専決処分を決めた。

7月26日に議長へ報告し、29日に副議長、議会運営委員会委員長、31日に産業建設水道常任委員長に報告した。



橋梁が完成した開田線

反対討論

今回、工期の変更だけでなく専決処分が十分と考える。しかしながら、所管の委員会に丁寧な説明はできたのではないかと、工期の契約変更は大きな問題である。契約とは何なのか、議会とは何なのか問われている。議会で決めることが、市長の判断のみで決められていくのであれば、議会は必要ない。

放課後児童クラブみゆキッズ 3組新設運営に 約700万円



放課後児童クラブ (みゆキッズクラブ3組)

行幸小学校区内の放課後児童クラブの利用ニーズが高まっている。そのため、みゆキッズクラブ3組を新設し、運営する予算が計上され、可決した。

問 いつから新設するのか。

答 令和6年10月から新設する予定である。

問 どこに設置するのか。

答 みゆキッズクラブ1組の面積が広いので、1組の部屋を仕切って設置する。

問 どこが運営するのか。

答 みゆキッズクラブ1組、2組と同じ「NPOおかやま放課後児童クラブ運営機構」が実施する。

令和6年第4回(8月)定例会 賛否の公表

3頁の続き

議案名	議決年月日	採決結果	賛否の公表										賛成	反対							
			かなえの会	日本共産党 瀬戸内市議団	公明党 瀬戸内市議団	創流クラブ	瀬戸内市民の会	新風													
			秦井 誠司	成本 崇	高野 舞	厚東 晃央	島津 幸枝	河本 裕志	川勝 浩子	竹原 幹	日下 俊子	小野田 光	原野 健一	平原 順二	木下 公文	廣田 均	小谷 和志	石原 芳高	岩田 恵一		
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて(道路工事(橋梁下部A2、P2)に伴う工事請負契約の一部変更について)	R6.9.9	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2

○=賛成 ●=反対 退=退席 欠=欠席 --=議長職(議長は採決に加わりません)

小規模保育事業所整備に 約1千800万円

0歳から2歳児までの高まる保育需要に対応するため、小規模保育事業所を新設する民間事業者に対して補助金を交付する予算が計上され、可決した。

問 どんな民間事業者か。

答 岡山市中区で3園の認可小規模保育園を運営する、「株式会社あかとんぼ」である。

問 場所は。

答 邑久町上笠加地内の民家を改修して実施する。

問 対象は。

答 0歳から2歳までの子ども、18人定員である。

問 開園日時は。

答 令和7年4月1日開園予定である。月曜日から土曜日、7時から18時、延長保育は18時から19時である。



人事案件

人権擁護委員の候補者として

山本 登世
太田 弘子
日下 千賀子
を適任者と認める
(任期は令和7年1月1日〜令和9年12月31日)

訃報



室崎陸海議員(79歳)が、去る8月31日に逝去されました。

故室崎議員は、平成8年4月に邑久町議会最古参の議員の一人でありました。

平成16年の合併後は、瀬戸内市議会議員として連続6期務められ、その間、産業建設水道常任委員長12年、錦海塩田跡地問題特別委員長8年などの要職を歴任されました。また、すぐれた政治感覚と抜群の行動力を発揮し、瀬戸内市勢発展のために「尽力いただきました」。

特に、市の環境問題や歴史・文化の保全、観光の振興、まちづくりの推進など市勢を多角的にとらえ、力を入れてこられました。人に頼まれると断れない性格、実直で豪放磊落な人情味あふれる議員でした。私たち市議会は、室崎議員の志を引き継ぎ、市民が幸せを感じるまち、安心で安全なまちづくりのために努力してまいります。

これまでの功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。



一般質問

- 川勝浩子 (6ページ)**
 1. 災害への備えについて
 2. 子育て施策について
 3. 空き家対策について
- 岩田恵一 (7ページ)**
 1. 市道開田線整備工事について
 2. 教職員の時間外労働について
 3. 耕作放棄地対策について
 4. ダイバーシティの推進について
- 秦井誠司 (7ページ)**
 1. 人口減少問題について
 2. 本市における特殊詐欺被害の対策について
 3. 公民館及び文化センターについて
- 木下公文 (8ページ)**
 1. 空き家対策について
 2. 地元から出た要望書について
 3. 防災対策について
- 日下俊子 (8ページ)**
 1. 鳥獣被害対策について
 2. 小学校の学区について
- 高原舞 (17ページ)**
 1. 配食による高齢者等見守り事業について
 2. 子ども議会について
 3. 市道の草刈りについて
 4. 市役所本庁舎について
- 厚東晃央 (17ページ)**
 1. 高齢者の生活支援について
 2. 子育て支援策の充実について
 3. 地域ビジネス支援センターについて
- 河本裕志 (18ページ)**
 1. マイナ保険証の普及と利用促進等について
 2. 高齢者支援について
- 成本 崇 (18ページ)**
 1. 観光に対する取組について
 2. 公共交通について
- 竹原 幹 (19ページ)**
 1. 第2宮下産業団地造成について
 2. ゆめトピアの整備計画と管理について
- 石原芳高 (19ページ)**
 1. 災害に対する市民の意識について
 2. 「スピード落とせ」などの注意喚起看板について
- 原野健一 (20ページ)**
 1. 市有財産について
 2. 道路行政について
 3. まちづくりについて
- 小野田 光 (20ページ)**
 1. 南海トラフ地震等大規模災害への備えについて
 2. 瀬戸内市の今後の展望について
 3. 小規模特認校について
 4. 道の駅について
- 廣田 均 (21ページ)**
 1. 鹿忍地区の浸水問題について
- 島津幸枝 (21ページ)**
 1. 熱中症対策について
 2. 心身障害者医療費助成制度について
 3. 脱炭素先行地域づくり事業について

写真：まるで白鷺が羽根を広げて飛んでいるかのように見える美しい花姿をしたサギソウ（長船町磯上地域）



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

川勝 浩子

問 災害時のためトイレトレーラーの配置を

答 災害時のトイレ問題は課題。研究する



倉敷市のトイレトレーラー

大規模災害時にトイレ不足や衛生環境の悪化などが様々な問題の引き金になると言われている。市としても課題であり、導入事例を参考に研究する。

総務部参与

問 災害時のためトイレトレーラーを配置しては。

福山浄水場、長船水源地将を拠点に市内3か所まで応急給水ができるようにしている。

上下水道部長

問 災害時に断水した時の給水体制は。

問 こども誰でも通園制度の取り組みへの考えは。

こども・健康部長

保育所等に通っていない満3歳未満の乳幼児を対象に、月一定時間まで、保護者の就労要件を問わず利用できる制度である。令和7年度実施を目指す。

問 空き家管理に対しての補助金等、考えてはどうか。

総合政策部長

ふるさと納税の返礼品に空き家管理サービスがある。新規事業者の開拓など、幅広く周知を図りたい。

市長

問 学校給食費は10月から半額免除の予定だが、今後の見通しは。

ふるさと納税活用により、財源を維持確保していきたい。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

岩田 恵一

問 ダイバーシティの推進について

答 推進に向けた条例制定を目指す



副市長

問 ダイバーシティ社会の実現に向けて推進状況は。

多様性が尊重される社会の実現にむけて、昨年度副市長直轄のダイバーシティ推進室を設置した。今後、市や市民、事業者が協働して進めるために、ダイバーシティ推進の条例制定を目指す。



令和7年度完成を目指す開田線の橋梁工事

関係機関と協力し、安全確保に努める。

産業建設部参与

問 市道開田線の整備工事の進捗状況は。また、開通後の交通安全対策はどのように考えているのか。

橋梁工事、市道の交差点改良を行い、全線開通は令和7年度中を予定。安全対策の信号機設置については、交差点交通量の目安の300台/h未満と予測しているが、開通後の交通量を調査し検討する。周辺交差点の安全対策についても、警察、

産業建設部長

問 耕作放棄地の推移と再生対策の状況は。

農家の高齢化により、耕作条件が悪い農地を中心に放棄地は5年間で298haから、348haと増加している。令和3年度から放棄地解消事業を実施しており、復旧実績は9・4haとなっている。今後とも復旧を推し進めると共に、転作の提案、支援を行い放棄地の解消を図っていく。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

秦井 誠司

問 ホームページからの公民館利用について

答 市民が具体的に検討できるよう改善する



教育次長

問 公民館のホームページについて、写真を掲載するなど各部署がイメージしやすいようにできないか。また、利用申請をオンライン化できないか。

中央公民館と同様に他の公民館などの室内の画像や部屋の広さをホームページに掲載し、市民が具体的に検討できるように改善する。ゆめトピア長船においては、公民館活動と文化センターの活動について、分かりやすいようにホームページへ掲載する。



まちの拠点として期待されるゆめトピア長船

総合政策部長

問 大型産業団地やゆめトピア長船のこどもパークがこれからできる。本市への移住促進策として個人が自宅として新規購入する住宅における固定資産税の補助などを検討できないか。

移住定住促進策は瀬戸内市移住交流促進協議会との連携による移住フェアや移住相談会への出席などを展開しているが、移住定住促進を目的とした住宅取得に対する固定資産税などの補助制度は現在行っていない。

今後とも移住定住の対策は必要かと考えているが、財源や対象者、要件などは慎重に検討していく必要がある。他市の実績などを参考に検討していきたい。



木下 公文
問 空き家活用補助金の上限額を見直しては
答 今後、研究していく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

今年度空き家活用補助金の上限額が30万円から50万円に見直されたことには大変感謝している。ただ、水回りの改修をするだけで、200万円から300万円のお金がかかるという。例えば新見市は購入、改修、家財整理を合わせて最大で520万円の補助が出る。年間の予算総額を比較しても全く規模が違う。

総合政策部長

本市も再度、見直しをする必要があるのでは。本市は岡山県の補助金を財源としている。また、今年度見直しをした事もあり、現在のところ見直す予定はない。

移住・定住として空き家活用が重要な施策だと考えている。もっと本気度が伝わってくる本気の過疎対策という事でこの事業をより良くしてもらいたい

瀬戸内市と新見市の比較表
項目 瀬戸内市 新見市 備考
面積(㎡) 125.46 743.29 R6年4月1日現在
人口(人) 36299 26258 R6年4月1日現在
転入数(A) 609 259 R6年4月から7月末
転出数(B) 595 224 R6年4月から7月末
(A)-(B) 14 35 R6年4月から7月末
移住促進策
リフォーム補助金 50万円 300万円 瀬戸内市50万×6件分 新見市300万×8件分
家財整理補助 20万円 20万円 瀬戸内市20万×5件分 新見市20万×2件分
補助対象者 県外者のみ 県内及び市内在住者も可
購入補助金 無し 200万円 新見市200万×8件分
補助金総予算 400万円 4040万円 R6年度予算

見解は。本市は転入超過になっていて、転入者が年間約2千人いる。補助金を出さなくても転入して来られる方々もおられる中で、補助の対象となり、そうした方への補助がどのような費用対効果があるのかを意識し、効果を見ていく必要がある。また一般財源で対応していくことで、市民の皆さんへの説明責任を果たしていかなければならない。重要なテーマなので、利用者のニーズ、財源の問題等を踏まえて、引き続き前向きに取り組んでいきたい。

市長

日下 俊子
問 小学校の学区の見直しを
答 今のところ見直しをする予定はない



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



市内の市立学校の通学区を定めた瀬戸内市立学校通学区区域規則が、平成17年にでき、平成30年以降見直されていない。

地図を見てもらえば分かるが、長船町は、服部は行幸小、土師は国府小となっている。

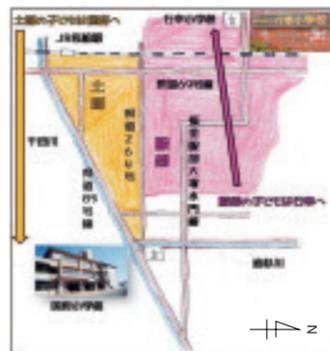
土師も服部も大変広く、土師の駅前も国道の西にあり、位置的には行幸小に近いが、国府小に通っている。反対に、服部の東は国府小の目と鼻の先にあるが、国道を渡って遠い行幸小に通う。

一番心配に思うのは、長船町で一番危険な駅前の国道を渡り、遠い小学校に毎日通うことだ。

今の子どもファースト・子ども真ん中の時代に合っていないのではないか。見直しをすべきでは。

教育長

今のところ見直しをする予定はない。



国道を渡り遠い小学校に通う子どもがいる現在の学区

産業建設部長

しっかり対応する。

市の有害鳥獣駆除は、現在は猟友会の一部の方を狩猟班に任命し、駆除している。鳥獣被害の増大に対応するため、実施隊員を市民から広く募集し、今年度の猟期後から新体制で駆除を実施すると聞いた。

今までは地元の狩猟班が、地域や地主と合意形成を図り、捕獲してくれていた。今後だれでもどこでも捕獲できるようにしても、安全・安心が第一の指導をしっかりとすべきでは。



鳶原 舞
問 主要な市道の草刈りを年2回すべきでは
答 必要な個所の予算要求を検討したい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

牛窓のオリブロードは主要な幹線道路の一つと認識している。枝打ち及び草刈りの回数について今後検討する。

産業建設部参与

オリブロードは主要な幹線道路の一つと認識している。枝打ち及び草刈りの回数について今後検討する。

配食による高齢者等見守り事業について、利用実績や意見、利用促進に向けた取り組みは。

福祉部長

令和5年度が461人で、延べ配食数8千416食と、年々順調に増えている。好評な意見が多いので、今後も利用促進にむけて広報の機会を増やしていく。



調理が困難な65才以上の高齢者世帯に対し、1日1回、月～金、バランスの取れた食事を1食当たり400円で配食するサービス

地域を愛し、地域をより良くし、将来地域に貢献しようという子どもを育てるため、子ども議会を導入しては。

教育長

現状の教育計画の中に組み込みにくい。

市役所本庁舎では、枯れ葉のある植物や置き傘を放置している。今ある環境下で、明るく見やすく相談しやすい環境に整備しては。

総務部参与

今後は、定期的な確認をし、環境整備を行う。



厚東 晃央
問 妊産婦タクシー助成制度の対象拡大を
答 なるべく早いうちに対応したい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

子育て支援や少子化対策になる妊産婦へのタクシー助成制度を改善して、タクシー利用券をもれなく配付できるようにすべきでは。

いづも・健康部長

現在、アンケートを実施している。すべての妊産婦が安心して出産が迎えられるよう研究している。

市長

なるべく早いうちに対応できるように努める。

小中学校の給食費は、9月まで無償化で、10月から半額負担となる。賃金もなかなか上がらず、物価が高騰する社会状況が続いているので、10月以降も無償化の継続をすべきでは。

市長

財源の確保が難しいので、全額無償化は厳しい。来年度以降の負担軽減策



市内の高齢者のみの世帯は5千515世帯である。そして、65歳以上の免許のない方は4千296人である。財政的な負担がどの程度生じるか見極めが難しいので、現状では実施は困難である。

福祉部長

免許のない高齢者にタクシー利用券の配付をすべきでは。

はこれからも続けたいと考え議論している。ただ半額負担が精一杯である。



竹原 幹
問 ゆめトピア南側の舗装を剥いだ理由は
答 跡地活用が決まり次第整備する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



問 第2宮下産業団地造成事業は、今年3月末には完成予定だったが、それが昨年の10月に余剰土砂が発生したとして、4期工事を進め、今年度には5期工事まで実施している。余剰土砂は、備前市片上地区の多目的広場の造成や、同市久々井の浄化センターに搬出。工期も伸び、総事業費も約8億円弱のものが10億円を超えた。

答 この造成事業は、進出企業の希望に沿い、オーダーメイド方式により、

問 ゆめトピア長船南側駐車場や進入路まで舗装を剥ぎ、ロープを張りめぐらし、進入禁止にした理由は。

総務部参与 長船支所等跡地を含む敷地にこどもパークの計画があり、舗装を取り除いた。進入路は、跡地の活用方針が決まり次第整備する。



ゆめトピア長船の正面進入路

問 整備を進めているとして、企業側と、いつどのような協議がなされたのか。また、備前市と、いつどのような協議がなされたのか。余剰土砂は、刀剣博物館の駐車場やビジネスセンターの造成に回すことは考えなかったのか。

産業建設部長 市に岡山地方裁判所から住民訴訟の訴状が届いている。質問に対する回答が訴訟内容に影響を及ぼすこともあるため、答えられない。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

河本 裕志
問 マイナ保険証の普及と利用促進は
答 広報誌やホームページなどで周知する



マイナンバーカードの健康保険証明用のメリット

問 今年の12月2日から現行の健康保険証の発行は終了するがどうなるのか。

市民部長 最長令和7年7月31日までは、今までと同様に使うことができ、マイナ保険証を保有していない方には、保険証の有効期限を迎える前に資格確認書を交付し、保険診療が受けられる。

問 マイナ保険証のメリットは。

市民部長 限度額適用認定証などの手続きなしで、高額医療限度額を超える額の支払いが免除される。

問 8月末までの熱中症による高齢者の救急搬送は何人か。

消防長 38人で、熱中症による搬送者の67・9%を占めている。

問 屋内、屋外の割合は。

消防長 屋内が24人、屋外が14人となっている。

問 高齢者にとって熱中症は命に関わり、経済的に厳しい市民税非課税世帯へのエアコン設置補助や電気代補助は考えないのか。

福祉部長 財源確保の検討が必要であることから、実施は現段階では難しい状況である。



成本 崇
問 デマンドタクシーを導入促進する考えは
答 検討の余地はあると考えている



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



再編を求められる多様な公共交通

問 現在の市営バスは、邑久町中心部を起点として放射線状の経路になっている。中心部近くは路線が重複し、周辺部にいくほど路線間が離れ、公共交通不便地域が増えている。公共交通再編の考えは。

総合政策部長 現在運行している全8路線は、各地域と市中心部を結ぶルートを運行しており、乗り継ぎなしで市の中心部へ行けるという点の利便性を優先している。

市長 デマンドタクシーのほうに向いているエリアがあるかどうかということを見極める必要がある。利用者の声も聞いたうえで、向いているところがあれば、デマンドタクシーを入れていく余地はある。利害関係者との合意形成などを図った上で進めていく必要がある。

問 「スピード落とせ」などの注意喚起看板の設置要望が多いが、市としての対応は。

総務部参与 災害発生時には、自助、共助、公助の連携が欠かせない。災害に対する市民の意識をどのように捉えているのか。

総務部参与 災害の発生直後は、行政による公助には限界がある。自助と地域で助け合う共助について、平時から取り組みを進める必要があると考えている。先般実施したアンケートの結果においても、地域における防災の取り組みが必要だと多くの自治会が回答している。今後も防災出前講座や、防災リーダーの育成を実施し、主体的に自助と共助の取り組みを進めていただけるように支援を行う。

問 「スピード落とせ」な設置要望が多いが、市としての対応は。

教育次長 それぞれの危険箇所、有効な注意喚起を行えるよう総合的に判断して対応をしている。生活道路の最高速度が30キロに統一されることに伴い、より効果的な注意喚起を考慮し安全運転を促したい。



設置要望が多い注意喚起看板



廣田 均

問 鹿忍地区の低地帯浸水防止をどうするか

答 河川改修と雨水排水対策の連携を検討



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

鹿忍唐戸港は小向川から出た土砂が堆積し、半分以上がアシが繁茂しており、過去地区総意の浚渫の要望書が市に提出されている。アシが水の流れを悪くして停滞の原因となっておりアシを刈る必要があると思うが、

産業建設部参与



アシが繁茂する唐戸港

平成27年度に流域や現況、河川断面の調査を実施、その結果を基に概略設計を行っている。川沿いには住宅が密集し、道も非常に狭く地形や施工方法から大規模な河川改修は難しい。下水道の雨水排水対策と連携しながら総合的な検討を進めていきたい。

産業建設部参与

過去何回も質問しているが、小向川の改修はどうなっているのか

産業建設部参与

理者の岡山県に対応を強く要請している。安全で効率的な施工方法を検討し、地域の生活環境の向上に貢献できるように、県と協議する。

問 鹿忍沖の大樋門の排水ポンプの稼働能力は。

産業建設部参与

常設の排水ポンプ4台で毎秒0・95トンの能力がある。台風等に備え、7月から10月まで仮設ポンプ6台0・442トンで、総排水能力毎秒1・37トンで対応している。



島津 幸枝

問 体育館にエアコン設置を

答 避難所になっているため方策検討したい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

今年度の夏休みはほぼ毎日熱中症警戒アラートが発令された。夏期休業中に子どもの居場所にもなるクールスポット

市長

教育次長

体育館へのエアコン設置は費用面で難しい状況。

問 学校体育館は、市内のスポーツ団体等も学校開放事業として使用し、延べ人数では6万1千958人の市民が利用している。年々に暑さが増している。早急に、避難所となる体育館にエアコンの設置を。せめて今年度中学校に10台(1台あたり約7万円で購入配備したスポーツコート)を小学校体育館にも配備を。

市長

市民部長

令和7年度から対象を拡大する準備をしている。

問 心身障害者医療費助成制度は知的障害者と身体障害者に対象が限定されている。精神障害者にも対象拡大を。

総合政策部長

図書館や公民館など、常時開設している施設の活用を含め検討したい。

地域の協力も得て、各地域に開設を。



学校体育館にエアコンを



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

原野 健一

問 通学路の危険箇所は早急な対処を

答 建設課への要望であったが協議していく



市有財産の貸付料が削減されているところがあるが、市の発展に十分寄与をされているとは思われるが、減免を受けているにもかかわらず

教育次長

通学路の危険箇所については、優先順位を適切に対応している。この件については、地元の方が直接建設課のほうに要望に行かれており、教育委員会の中ではまだ優先順位がつけられていない状況である。建設課とも優先順位の協議をしていく。

総務部参与

わらず、営利目的が先行していないか。

減免しているものは、地域の活性化や観光の各拠点となる施設で、遊休資産の有効活用を図る目的として減免を行っている。

総合政策部長

運営費や初期投資分を回収するだけで、営利を目的とする事業とはなっていないと市は把握している。



早急な対応が望まれる通学路危険箇所



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

小野田 光

問 防災拠点の耐震・停電対策は

答 財源等調整し、進めていく



小規模特認校において現在の新一年生だ

市長

裳掛地区の早期避難所はコミュニティ施設のみである。トイレの洋式化や非常電源も、未整備であり老朽化も著しい。

総務部参与

本庁舎や避難所など防災拠点となる施設の非構造部の耐震や停電対策はできているのか。

市長

収益の見込める体験型農園を整備する。また地域産品のカキを楽しむ施設整備も行い、魅力ある施設とする。

問 道の駅の進捗状況は。令和7年度の募集より希望の相談に応じていきたい。

教育次長

けでなく全学年の就学を認めるべきでは。



新たにオープンする道の駅黒井山グリーンパーク「体験型いちご農園」



環境福祉常任委員会
令和6年7月8日

視察先：和気町益原多目的公園

目的：子どもの遊び場について

令和6年3月にリニューアルオープンした和気町益原多目的公園であるが、大変な人気ぶりで4月から6月の利用者数は前年に比べ2.26倍の1万人とのことである。

本市のこどもパーク整備においても、駐車場の確保、混雑時の安全確保、市民が利用しやすい環境づくりなどの必要性を感じた。



和気町益原多目的公園

岡山市議会議員研修会
令和6年8月8日

岡山市議会議長会主催の議員研修会が、高梁市で開催された。

【演題】「議員のなり手不足と地方議会改革」

【講師】東北大学大学院准教授 河村和徳氏

【講義内容】人口減少に伴い、若者の政治離れが進む。それが議員のなり手不足につながるという負のスパイラルが起こっている。それでは市民の意見が反映されないリスクが考えられ、今後はより深刻化していくことが懸念される。このための議会改革として、まずは「見える化」は必須であり、インターネットによる議会や会議録の公開をはじめとして、あらゆることの情報公開をし、そのためのデジタル技術を活用することで市民との接点を増やすことも検討するべきである。



瀬戸内市議会議員研修会
令和6年8月21日

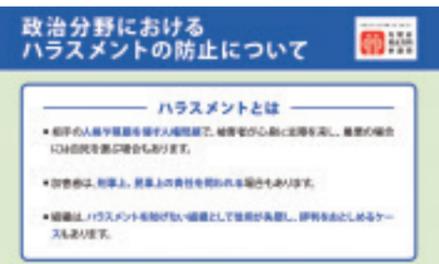
ハラスメント防止に関する研修会を各種動画により行った。

【教材】内閣府男女共同参画局作成動画教材、議会三団体作成研修動画

【動画研修講師】一般社団法人公務員研修協会 代表理事 高嶋直人氏 ほか

【テーマ】「地方議会議員のためのハラスメント防止講座」

【講義内容】従来からある「パワハラ」「セクハラ」のみならず、多様化するハラスメントの現状を知り、ハラスメントについての理解を深めた。その後、具体的な事例をもとにどういったことがハラスメントに該当するのか、対応策等をわかりやすく視聴した。他の自治体で、政治倫理条例とは別にハラスメント防止条例を策定する動きが加速している事例の紹介もあった。自治体によって内容は多様で、二元代表制と矛盾しないか、条例を明文化することが難しい等の課題があるが、誰もがハラスメントの加害者にも被害者にもなり得ることを実感し、ハラスメントのない快適な環境を作っていくことが必要だと感じた。



出典：内閣府男女共同参画局

総務文教常任委員会視察報告
令和6年7月26日

視察先：岡山市

目的：岡山市朝日地区生活交通「あさタク」の取り組みについて

交通不便地域において、地元が主体となって運営組織ができたところに、地域内のデマンドタクシーを運行事業所に委託するかたちで運用している。



岡山市視察風景

視察先：備前市

目的：デマンド型タクシーの取り組みについて

10地区に10台のデマンドタクシーとドライバーを市が用意し、午前中だけの予約と運行で運用している。



備前市視察風景

公共交通について

瀬戸内市は、現在ワゴン車と中型バスで運用しているが、停留所からの距離などの課題もあり、ドアtoドアで移動できるデマンドタクシーの利便性が求められている。

運用には課題もあるが、議会の所管委員会として、これからも調査研究し移動手段の確保に努めていきたい。

産業建設水道常任委員会
令和6年7月16日～17日

視察先：兵庫県丹波篠山市

目的：有害鳥獣対策「獣害へらそ課」の取り組み、及び放置竹林対策について

非農家の市民や市内外の多様な人たちと「獣がい対策」を行っていた。一般的にネガティブな対策と考えられるが、「害」と考えるのではなく、生きがい・やりがい・笑顔をプラスする政策と考えるなど、ポジティブに取り組みを実施しており、職員のやりがいや熱意が感じられた。本市も農家・捕獲者の高齢化が進む中、先進事例として参考にしたい。



丹波篠山市視察風景

また、放置竹林対策として、竹粉碎機と無煙炭化器の無料貸し出しについて実績や課題も聞くことができた。

視察先：京都府京丹後市

目的：下水道接続に係る支援制度と公共浄化槽の設置について

下水道、雨水、浄化槽を一つの部署が担当していることから、市民からの相談は機能的に処理されていた。市設置型浄化槽への取り組みは、全国的に見てもまだ少なく先駆的であるが、本市においても、どの処理方法が最適かを示すためにも、市設置型浄化槽制度を検討すべきではないかと感じた。



京丹後市視察風景

★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します
(下記メールアドレスにお送りください)



待ちに待った米の収穫
(千町平野)



一瞬の切れ味に息をのむ
(備前長船刀匠靈祭)



家族ふれあい釣り大会
(牛窓海水浴場)



8月15～17日開催の岡山県大会で準優勝を勝ち取った
邑久ミニバスケットボール少年団男子チーム

市では、いくつかの古墳から円筒埴輪
が出土しています。土管に似た円筒形
の埴輪で、古墳にぐるりと並べて設置
されていました。その起源は、弥生時
代末期に吉備地方で首長の墓に供えら
れていた特殊器台であると考えられてい
ます。

市内から出土した円筒埴輪のうち、
築山古墳や牛文茶白山古墳及び小茶白
山古墳で出土した埴輪片が、今年8月
の展示リニューアルから須恵古代館で公
開されています。いずれの埴輪片とも
野焼きの際にできる黒斑が無いことか
ら、埴輪を窯で焼き始めた古墳時代中
期以降のものだと分かります。

ぜひ須恵古代館に訪れ、古墳ごとの
埴輪を見比べてください。
(入館無料・土日祝開館)



築山古墳の円筒埴輪片

編集後記

記録的な猛暑日が続いた夏も終わりを告げ、市の自然豊かな風景が、少しずつ秋色へ変化しています。

広報編集委員として、議会日より第68号から作成に携わり、約1年半が経ちました。委員会では議会模様も少しでもわかりやすく伝えられるよう、メンバー一丸となって取り組んでいます。

今議会だよりは、市制合併20周年を記念して特集号を折り込んでいます。最後まで目を通していただければ幸いです。

議会では、突然の悲しい別れもありました。これからも議会ですっかり議論した内容を、この議会だよりを通してお伝えしてまいります。

(寫原 舞)

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

11月28日(木)	本会議	9:30～
12月3日(火)	本会議	9:30～ 一般質問
4日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
5日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
6日(金)	本会議	9:30～
23日(月)	本会議	9:30～

※本会議場で行う予算常任委員会も中継しております。(生中継のみ) 12月17日(火) 9:30～

会議の様子を、生中継および録画放映でご覧になれます。



●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp/site/setouchishigikai/>

この市議会だよりは再生紙を使用しています